

# 令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：37003

学校名：八軒中学校

## 改訂のポイント

- 生徒が自ら考え、判断し、表現し、自分に自信が持てる学習活動の充実
- 意欲を持って互いに学び合える学習活動の充実

## 項目名 項目内容

## 項目内容の具体

### 目標

「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像

- ☆基礎的・基本的な知識・技能を積極的に活用し、自ら考え、判断し、表現し、課題解決に向けて挑戦できる意欲を持った生徒
- ☆多様な学びを経験し、他者を理解し、尊重することにより仲間と協力して学びあうことのできる生徒

### 「学ぶ力」に関する成果や課題

学ぶ意欲

#### 【昨年度の具体的な取組】

- 自らの学びを振り返り、次の課題に向かう意欲を高める授業形態の工夫。
- 自ら課題を発見できるような学習活動の展開の工夫。

#### 【成果】

⇒「授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている」「分からないことは、自分で調べてはっきりさせようとしている」がそれぞれ増加し、目標をもって主体的に学習に臨むようになった様子がうかがえる。

#### 【課題】

◇自分の伸びを実感し、学ぶ意欲を持続させるための、各教科の授業づくりの工夫が課題である。

思考力・判断力・表現力等

#### 【昨年度の具体的な取組】

- 意見交流の場を明確に設定し、活発な言語活動が導き出される活動内容の工夫。

#### 【成果】

⇒小集団を生かした意見交流の場を授業の中に設定したことで「意見が違う人ともよく話し合おうとしている」生徒が増えることにつながった。また、校内研修のモデル授業参観を共通の視点で行うことができた。

#### 【課題】

◇話し合うだけではなく、その活動や内容をふまえて、自分の思考や判断を見直し、再構築するような手立てを授業の中でどう実現するかが課題である。

基礎的・基本的な知識及び技能

#### 【昨年度の具体的な取組】

- 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を目指した授業改善の工夫。

#### 【成果】

⇒全国学力・学習状況調査の結果、国語、数学、英語ともに全国平均を上回っており、基礎的・基本的な知識が定着している。

#### 【課題】

◇学習に困り感のある生徒を支援するための相談活動や家庭学習の定着を家庭と連携しつつ充実させるのが課題である。

### 今年度の具体的な改善策（取組）

取組の最重点

#### 【取組の共有】

課題探究的な学習を取り入れた授業の工夫改善を通して、自ら考え、判断し、表現する学習活動の充実を図る。基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、分かる・できる喜びを実感できる指導の充実を図る。

具体的な改善策（取組）

- 自ら課題や疑問を持てるような学習活動の展開の工夫や、主体的に課題を解決できるような学習形態の充実を図る
- 自分の意見を進んで発言し、考えをうまく伝える力を養うために、意見交流の場の設定や方法を工夫する
- 校内体制で小グループによる学習活動を効果的に設定し、生徒同士で意欲的に関わる場面の充実を図る
- 基礎・基本の定着を図り、習熟度に合わせた課題設定など、自らの伸びを実感できる指導方法の工夫やT Tにおける生徒個々への細やかな学習指導の充実
- 学習に対する不安や悩みを解消するために、家庭学習も含めた学習方法や習慣等についての個別の学習相談や教育相談を実施する
- 「さっぽろっ子『学び』のススメ」の懇談会等での啓発活動及びリーフレットを用いた家庭との連携の強化
- ICTを活用した学習活動の充実を図る

### 検証の方法

各種調査や子どもの自己評価指標の活用

- 各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等）
- 全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用
- 札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用